



Point 1

再生可能エネルギーを 自家消費

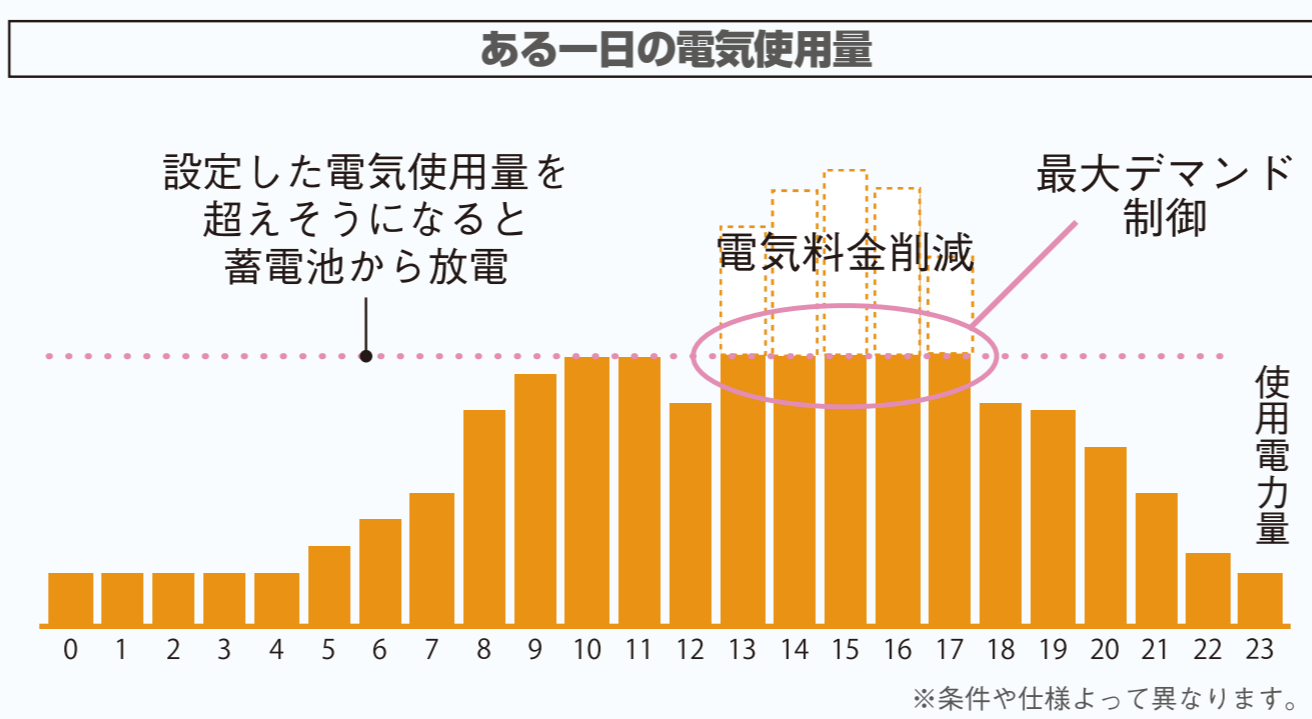
太陽光、風力等の再生可能エネルギーを直流のまま蓄電池に取り込み蓄電池が満充電の時パワーコンディショナーで交流に変換しそのまま構内負荷へと活電。再生可能エネルギーで発電した電力をそのまま自家消費することで電力使用量を削減します。



Point 2

ピークカット機能による 電気料金の削減

Eneman Management System (EMS) により常時電力使用状況を監視し自動で蓄電池出力をコントロール。電力最大使用ピーク時に強制放電します。使用電力量を下げるると同時に、最大使用電力量＝「最大デマンド」を制御することにより電気料金の大幅な削減が可能になります。



Point 3

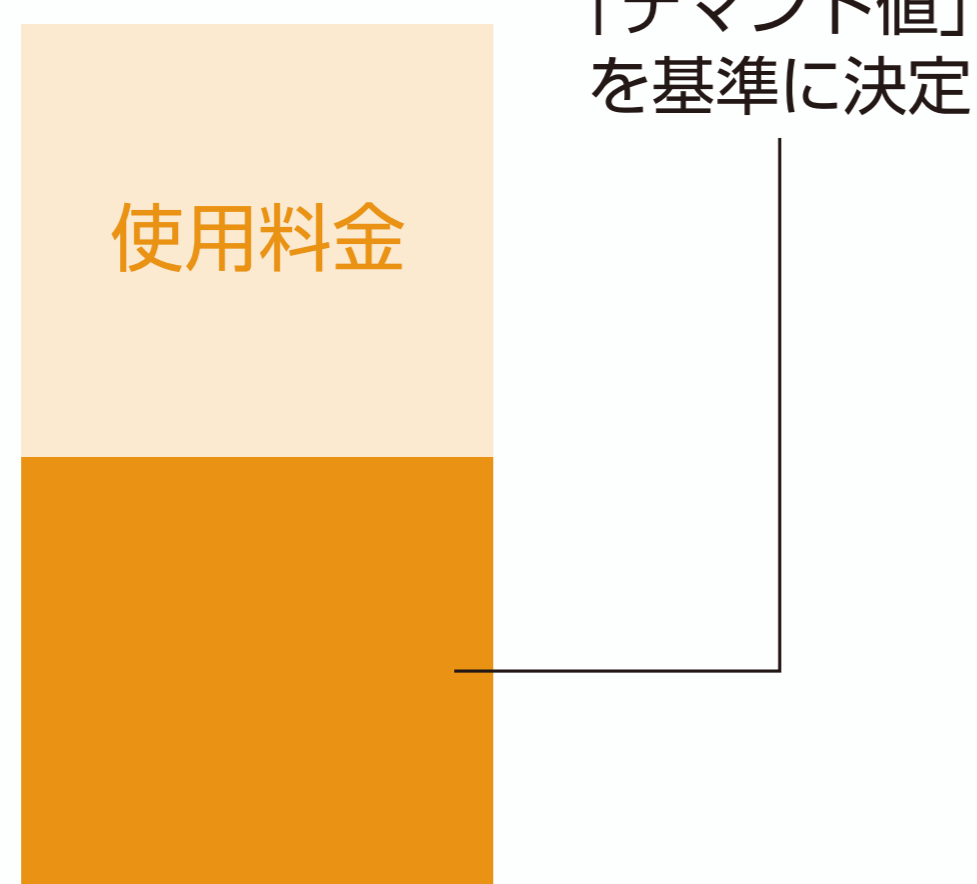
スケジュール制御機能で 自動的に負荷制御

スケジュール制御機能により、空調機などの負荷を曜日に応じてピークカット優先か自家消費優先なのか選択することが出来ます。これにより施設内の環境を最適化電気料金の大幅な削減につながります。

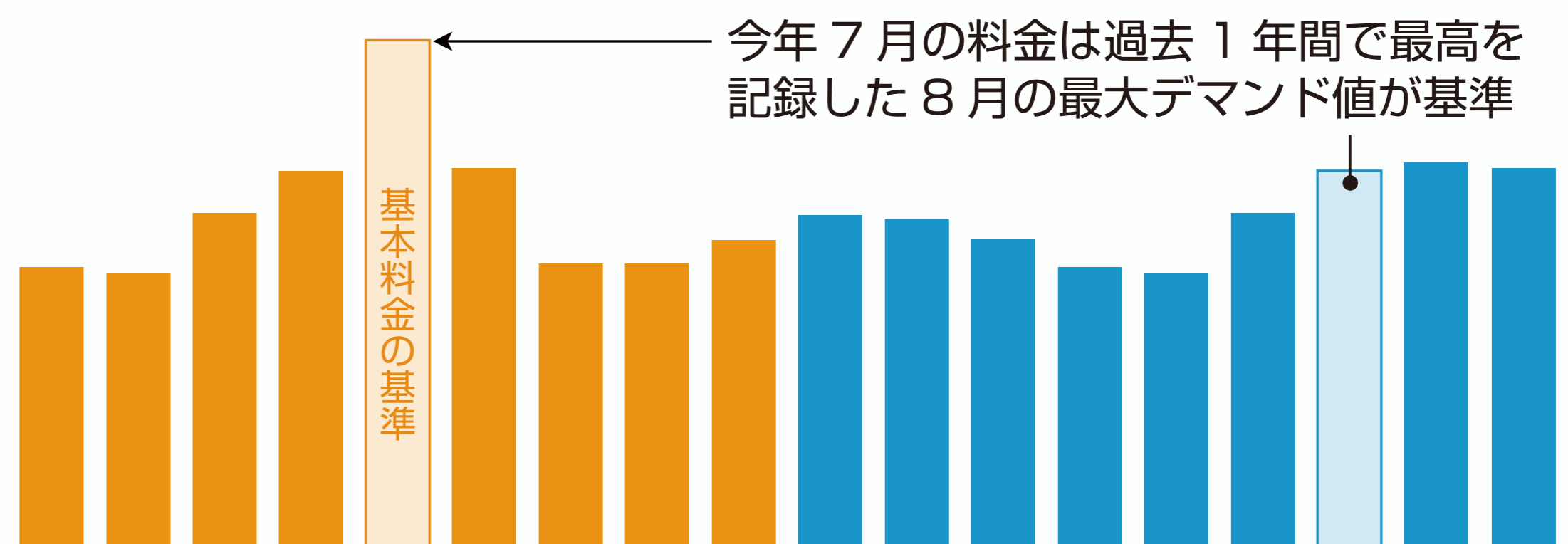


「最大デマンド」とは？

最大デマンドとは、使用した電力を 30 分毎に計量し、そのうち月間で最も大きい値のことをいいます。電気料金のうち、「基本料金」は 1 年間の最大電力使用量＝「最大デマンド」を基準に決定されるため、その最大電力を制御することにより、電気料金を節約することができます。



最も電気を使った30分間の電力値が、その月の最大デマンドです。

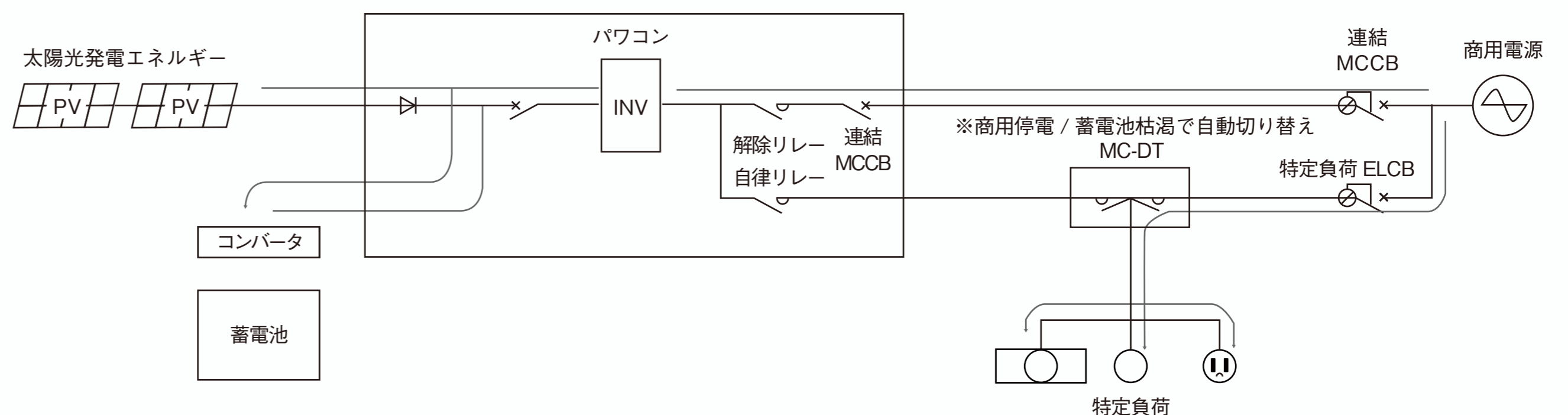


動作モード

連携モード

充電優先→自律充放電→デマンド強制放電

- 太陽光発電があるとき：充電優先。
- 太陽光発電があり満充電のとき：系統へ。
- ※自律充放電：充電しながら余剰を系統に流す



オフグリッドモード

自立充放電→不足電力時商用転換

- 自立充放電：充電しながら余剰を特定負荷に流す。太陽光の発電が無くなれば放電。

